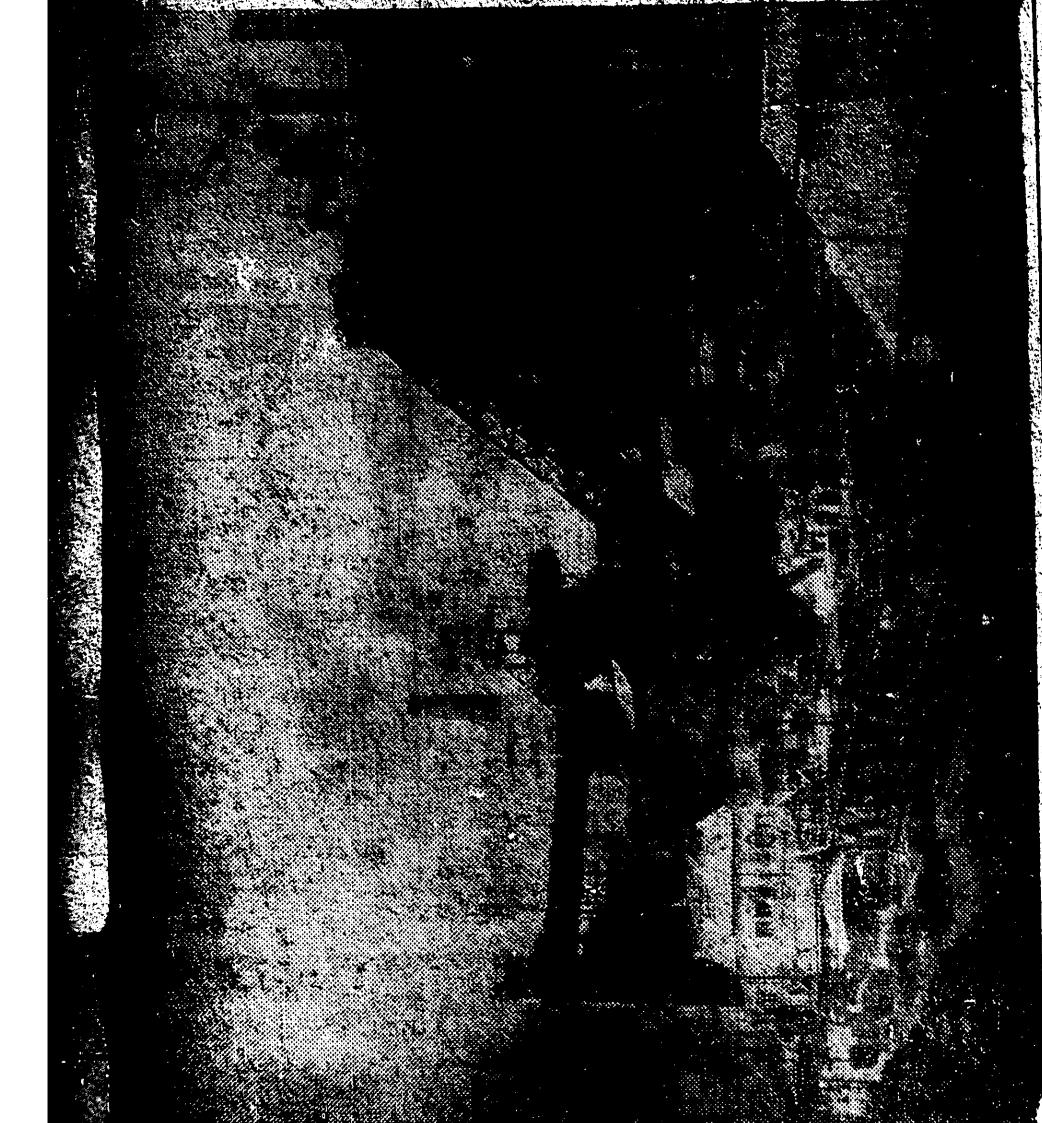


今死の血の匂が感せる死の聲



会

旗

を

先

頭

に

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

如何なる犠牲も物には

## 職工の結束固し 白仁長官並に内閣彈劾の 電報を政友會本部へ發す

の如きは、大體は當初より非常なる事態に爲り、必ずしも事件を以て開始したるものにして、事ある者の中には、是れは事件の性質を在原中の白仁長官並に、三井地主を負うて、國の取扱いをして居たる者には、最初から、身外の事件に對する態度を異にする者、或は二重工の様となつて、手足を貰ふる者と解すと解す。千葉に於ける九月二十五分下野事件は、日本は、自らの本部を發信したり、八幡電

## 解決の鍵は只、 長官の誠意のみ 職工團の氣勢更に昂り 不安の氣は全市に漲る

交渉委員の中川次長の會見は午後八時より十一時に及ぶも何等解決點を見出さず、至らず臨時休業は廿五日の晝勤までなるも、晚の意不申し、勤も甚だ覺束なし、職工の氣勢意外に強く市内は一般に瓦斯止り附近の店も締り所壓迫しき事なし、眞の解決は長官の誠意ある解答以外になし。

二十日午前六時着八幡で加藤特務員電は、衛生課所轄と眞脈を通じて各處の運動を阻害せんとする大門通合を

急遽石炭の輸送を停止す

四十輛を船八幡に向かへた車の運送を停止す

製鐵所の態度

無誠意

こ齊藤警察

部長痛嘆す

意思が徹底する迄は

意思が徹底する迄は

意思が徹底する迄は

當局は全然

より豈名の本懲

職工愈々  
總會共立

争議事

十時前大會

調和會

けつ

血氣本

に至りて山

吹雪に

に元運

の職別は、美女

なりたるも態